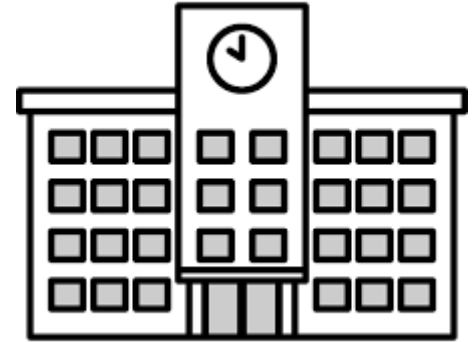


2019年11月

関係機関との連携

一般社団法人 ころろ相談研修センター
代表理事 杉下 味香

関係機関



教育

- 各小中学校、特別支援学校（地域の相談窓口）
高校・大学等 スクール、キャンパスカウンセラー
- 教育委員会、明石市青少年育成センター
- 兵庫県立特別支援教育センター
- こうべ学びの支援センター
- 各適応教室、兵庫県立但馬やまびこの郷、フリースクール



医療

- 兵庫県立こども発達支援センター
- 兵庫県立こども病院
- 明石市立市民病院
- 兵庫県立総合リハビリテーションセンター
小児科、児童精神科、耳鼻科等

市役所

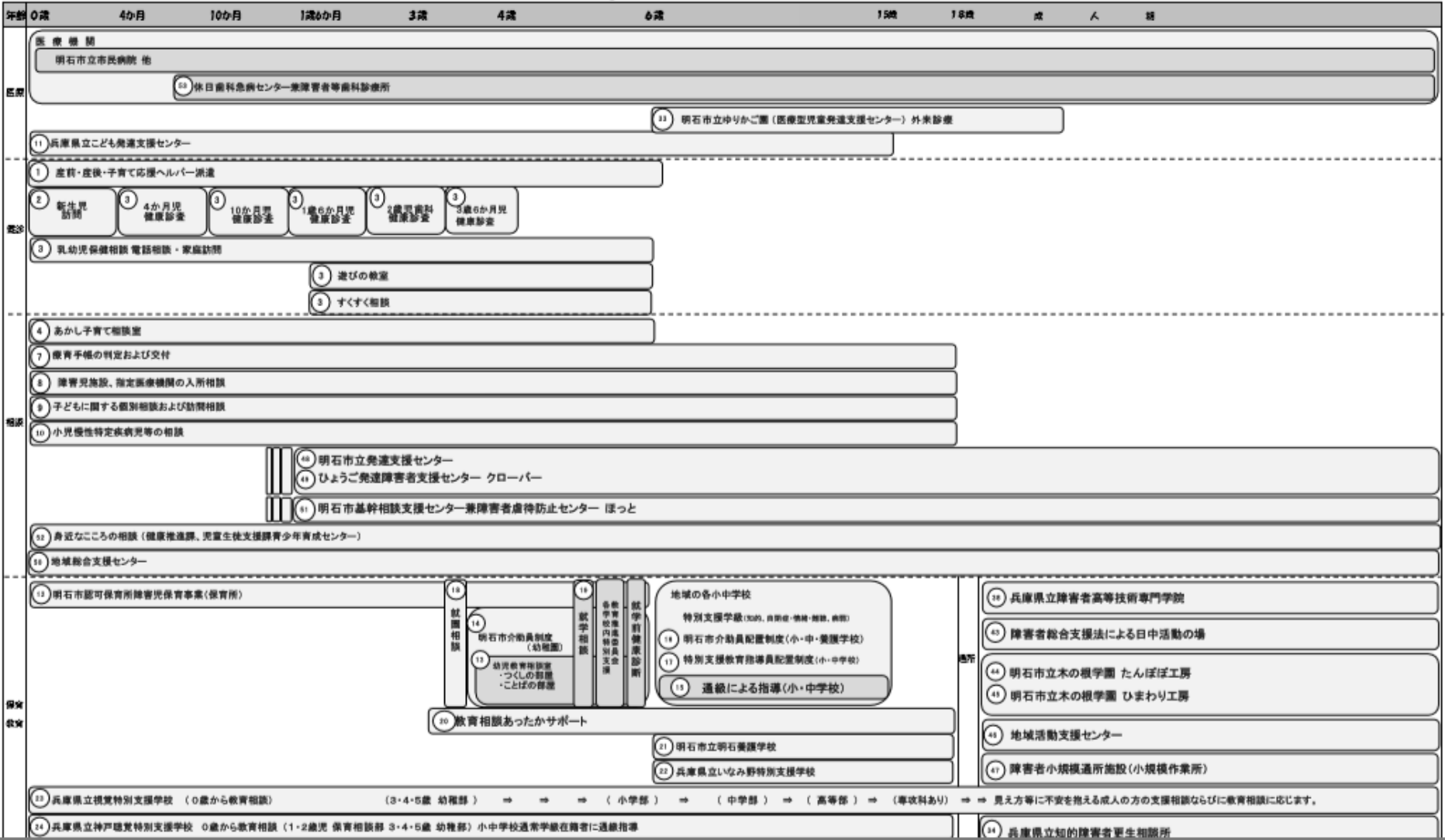


福祉・行政

- 明石市立発達支援センター
- ひょうご発達障害者支援センター クローバー
- 兵庫県立清水が丘学園
- 福祉サービス事業所
自発、放デイ、就労、グループホーム等
- 保健センター
- 子ども家庭センター、子どもセンター
- 明石市役所 障害福祉課
- ハローワーク
- 加古川障害者就業・生活支援センター

明石市立発達支援センター

<1> 発達障害児(者)に対する支援の流れ (イメージ図) 🐣



連絡手段

- 間接：電話、手紙

メリット 整理して内容を伝えられる(手紙)、時間の融通が比較的利きやすい

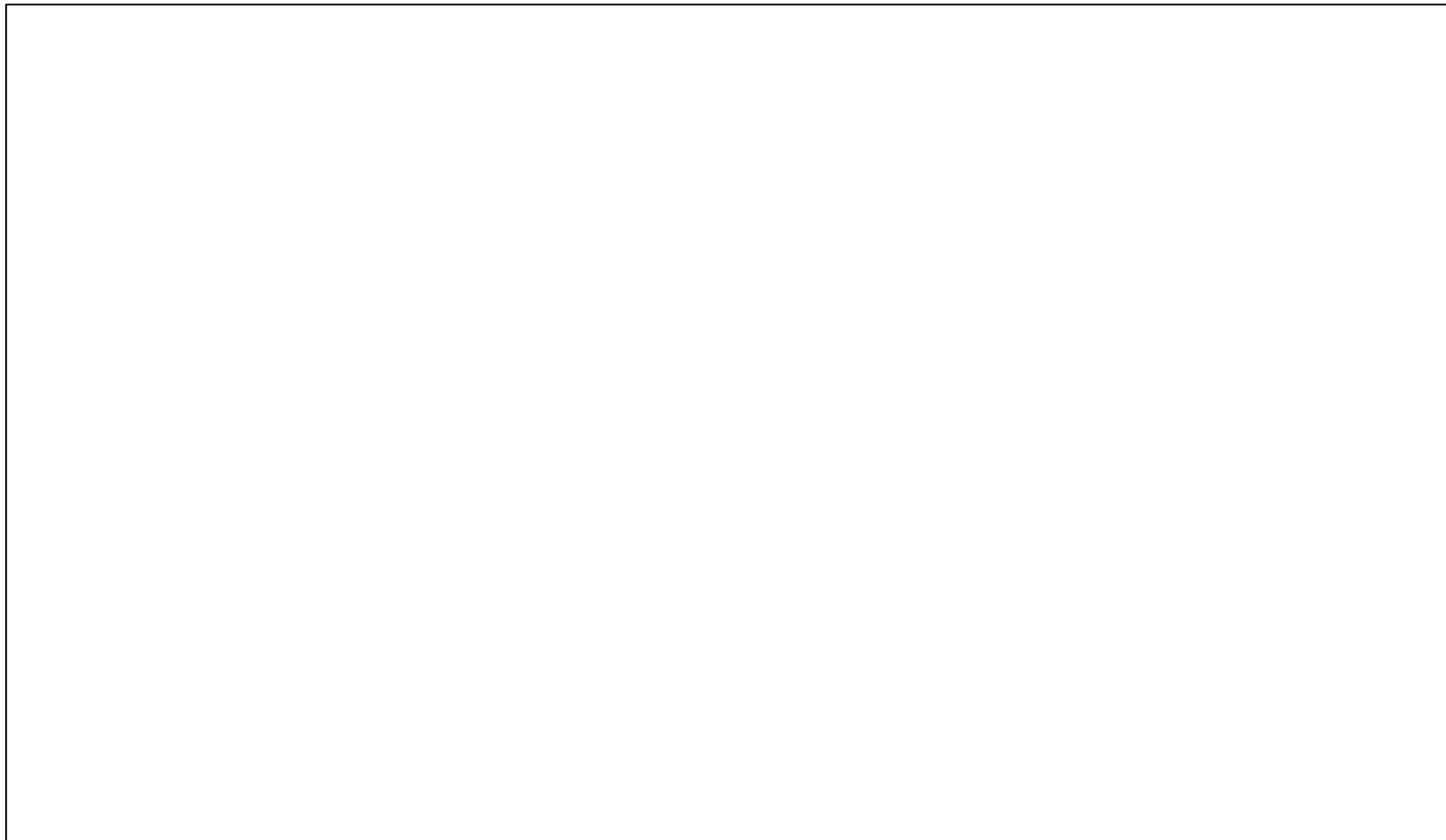
デメリット 相手の表情が見えない、すぐに返事が来ない、微妙なニュアンスが伝わりにくい、本人に見られてしまう(手紙)

- 直接：会って話をする

メリット 相手の表情が見える、すぐに応答が聞ける

デメリット 感情的になることがある、時間の調整が難しくて先になる

事例 友だちから嫌なことを言われた
とお子さんから相談されたら



①相談したいこと

家庭

そうくん到下校時「アホ」と言われて、こころくんは嫌な気持ちになった。

②望んでいること（目標）

学校・家庭

嫌がる言葉を言わず、楽しく遊んでほしい。

③役割分担・支援方法

学校

保護者から相談があった翌日にこころくんが嫌な気持ちになったことをそうくんから謝ってもらい、こころくんは許してくれて、今日も一緒に外で遊んでいた。

家庭

嫌なことや困ったこと、楽しいことを話してくれた時は、否定せずに話を最後まで聞くようにし、話すことで気持ちがラクになったとこころくんは言った。



④振り返り（期限）

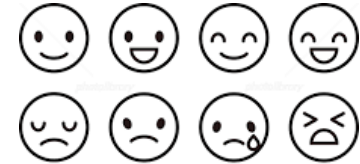
学校 1週間後

こころくん、そうくんそれぞれが笑顔で遊んでいる時に「楽しく遊んでいるね、いいね」とたくさん声をかけるようにした。こころくん、嫌なことは言われていないか確認すると「大丈夫」とのことであった。

パターン1

家庭 1週間後

カレンダーに表情のシールを本人が貼り、それに基づいて話を聞くようにした。



学校 ~~1週間後~~

2日後

その翌日に今度はそうくんから先生に相談があり、「実はじゃんけんが僕が勝ったときに、こころ君がアホって言ってきて嫌な気持ちだったから、下校の時にアホって言い返した」とのことであった。

パターン2

家庭 ~~1週間後~~

2日後

当日のことでないこともあり、本人に左記のことを四コマ漫画風に確認すると、そうくん、じゃんけんの時に「アホ」と言ったことを思い出したので、明日そうくん、に謝るよう伝えた。

⑤今後

学校・家庭

- ・よい行動ができている時にたくさん誉め言葉を言う。
- ・話の前後が整理できるよう四コマ漫画で時系列にして話を聞くようにする。



①相談したいこと

家庭

②望んでいること（目標）

学校・家庭

③役割分担・支援方法

学校

家庭

④振り返り（期限）

学校【 】後

パ
タ
ー
ン
1

家庭【 】後

学校【 】後

パ
タ
ー
ン
2

家庭【 】後

⑤今後

学校・家庭

連携する時のポイント

- 普段から感謝の気持ちを伝え、相談しやすい関係を作っておく。

→信頼関係をお互い築いていると相談しやすくなる。

- 子ども本人の思い、望んでいることを聞いておく。

→本人と保護者で望んでいることが違う場合がある。

- 相談したいこと、望んでいること(目標)、支援方法、振り返り(期限)、今後の共有

→メモに書きだしておく。

→望んでいること:相手から提案が出ないときは、具体的に伝える。

→期限を決めることで見通しが立ちやすくなる。

- 原因探しより、これからどうするのか解決に向けて話をする。

- 解決が難しい場合は第3者に同席をお願いする。

参考資料・文献

- ・岩田将英「ポジティブ学級に変える！解決志向アプローチ」明治図書出版、2015。
- ・厚生労働省「放課後等デイサービスガイドライン」2015。
- ・ピーター・ディヤング (著), インスー・キム・バーグ (著), 桐田 弘江(訳)「解決のための面接技法[第4版]—ソリューション・フォーカストアプローチの手引き」2016年。
- ・渡部伸監修「障害のある子が将来にわたって受けられるサービスのすべて」自由国民社、2019年。